



新着案内



早稲田大阪学園 図書館

<http://www.waseda-setsuryo.ed.jp>

No.135 2024/9/3

まだまだ暑いですが、焼き芋がおいしい！秋の訪れです。
図書館にも木の葉が舞っています。
読書の秋、食欲の秋、いろんな秋を図書館の本で探してみませんか？



●0 類 (総記・全般)

『石橋湛山没後五〇年に考える』

石橋省三 共編著他/早稲田新書

●2 類 (歴史・土地の様子)

『縄文時代を解き明かす』阿部芳郎 編著

『迷いのない人生なんて』共同通信社 編

/以上、岩波ジュニア新書

『地球の歩き方 マレーシア ブルネイ 2023~2024 年版』

『地球の歩き方 インドネシア 2024~2025 年版』

/以上、地球の歩き方編集室 編/地球の歩き方

『古墳との対話』加藤一郎/早稲田新書

『後漢書 列伝 1』范曄著 他

『後漢書 志 1, 2』司馬彪 著他

/以上、早稲田文庫



●3 類 (社会)

『ダイヤモンドより平和がほしい』後藤健二/汐文社

『地図で見るイスラエルハンドブック 新版』

フレデリック・アンセル 他/原書房

『現代中国を知るための54章 第7版』藤野彰

『現代韓国を知るための61章 第3版』

石坂浩一・福島みのり 共編著/以上、明石書店

『ルポ 貧困大国アメリカ 1,2』堤未果/岩波新書

『子ども若者抑圧社会・日本』室橋祐貴/光文社新書

『自壊する欧米』内藤正典・三牧聖子 共著/集英社新書

『新・世界から戦争がなくなる本当の理由』池上彰/祥伝社新書

『被害者家族と加害者家族死刑をめぐる対話』

原田正治・松本麗華 共著

『「北朝鮮の脅威」のカラクリ』半田滋/以上、岩波ブックレット

『日経キーワード 2024-2025』

日経 HR 編集部 編著/日経 HR

『データブックオブ・ザ・ワールド 2024』

二宮書店編集部 編/二宮書店

『「差別」のしくみ』木村草太/朝日選書

『フレイフレー!就活高校生』中島隆

『ムクウェゲ医師、平和への闘い』

立山芽以子 他著/以上、岩波ジュニア新書

『子ども学部』木村由香里

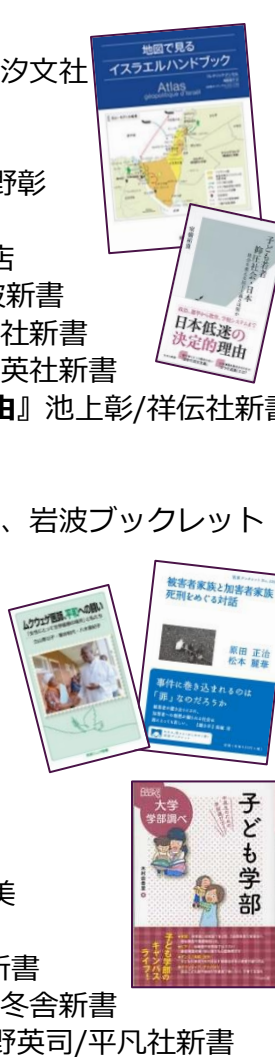
『水産学部・畜産学部・森林科学部』佐藤成美

『建築学部』いのうえりえ/以上、ペリかん

『国民の違和感は9割正しい』堤未果/PHP 新書

『堤未果のショック・ドクトリン』堤未果/幻冬舎新書

『戦争する国にしないための中立国入門』磯野英司/平凡社新書



●4 類 (自然科学・医学)

『理科年表 令和6年』国立天文台 編/丸善出版

『絶景の成り立ちを学ぶ』山口耕生 監修/世界文化社

『地図とデータで見る気象の世界ハンドブック 新版』

フランソワ=マリー・ブレオン 他/原書房

『身のまわりのあんなことこんなことを地質学的に考えてみた』

渡邊克晃/ベレ出版

『大陸はどのように動くのか』

吉田晶樹/技術評論社

『あなたの知らない食虫植物の世界』

野村康之/DOJIN 選書

『水族館飼育係だけが見られる世界』下村実/ナツメ社

『野生生物は「やさしさ」だけで守れるか?』

朝日新聞取材チーム/岩波ジュニア新書

『サバイブ』麻生羽呂 漫画他/ダイヤモンド社

『東洋医学はなぜ効くのか』

山本高穂・大野智 共著/講談社ブルーバックス



●5 類 (技術・工業・家庭)

『防災公園技術ハンドブック 改訂版』

都市緑化機構防災公園とまちづくり共同研究会 編著/都市緑化機構

『地球の未来のため僕が決断したこと』

ビル・ゲイツ 他/早川書房

『不整地移動ロボティクス』

永谷圭司 編著他/コロナ社

『香りのチカラ』平野奈緒美/笠間書院



●6 類 (産業)

『SDGs から考える世界の食料問題』小沼廣幸/岩波ジュニア新書

『食料危機の未来年表』高橋五郎/朝日新書

『グローバル社会の消費者心理』寺崎新一郎/早稲田新書



●7 類 (芸術・体育)

『《受胎告知》絵画でみるマリア信仰』高階秀爾/PHP 新書

『南くんの恋人 新装オリジナル版』

内田春菊/青林工藝舎

『なんてたって邦楽』釣谷真弓/東京堂出版

『はじめての雅楽』笹本武志/東京堂出版



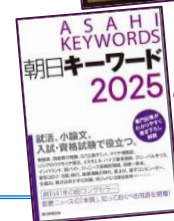
●8 類 (言語)

『朝日キーワード 2025』

朝日新聞出版 編/朝日新聞出版

『翻訳に挑戦!名作の英語にふれる』

河島弘美/岩波ジュニア新書



●9 類 (文学)

『作家/作者とは何か』日本近代文学会関西支部 編他/和泉書院

『冬期限定ボンボンショコラ事件 6』米澤穂信/創元推理文庫

『笑うマトリョーシカ』早見和真/文春文庫

『あなたと原爆』ジョージ・オーウェル 他/光文社古典新訳文庫

ちくまプリマー新書 多数入荷しています!

『ネットはなぜいつも揉めているのか』津田正太郎

『つながる読書』小池陽慈 編

『悪いことはなぜ楽しいのか』戸谷洋志

『人生のルールを外れる衝動のみつかけかた』谷川嘉浩

『わからない世界と向き合うために』中屋敷均

『沖縄について私たちが知っておきたいこと』高橋哲哉

『ニッポンの数字』眞淳平『君主制とはなんだろうか』君塚直隆

『マンガでたのしく!国会議員という仕事』赤松健

『刑の重さは何で決まるのか』高橋則夫

『税という社会の仕組み』諸富徹『社会学をはじめる』宮内泰介

『人間関係ってどういう関係?』平尾昌宏

『学校に染まるな!』おおたとしまさ

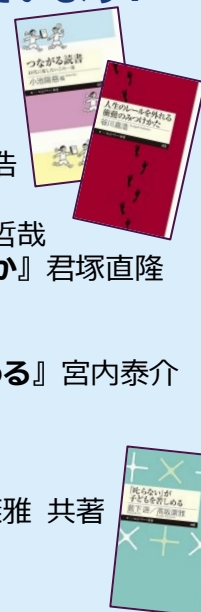
『高校進学でつまずいたら』飯村周平

『「叱らない」が子どもを苦しめる』藪下遊・高坂康雅 共著

『数学の苦手が好きに変わるとき』芳沢光雄

『古生物学者と40億年』泉賢太郎

/以上、筑摩書房



第171回 芥川賞・直木賞 受賞作品 入荷しました!



『ツミデミック』一穂ミチ/光文社

『サンショウウオの四十九日』朝比奈秋/新潮社

『バリ山行』松永K三蔵/講談社

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。